

平成 2 3 年度評価問題「ゆうチャレンジ」（熊本県学力調査） 小学校 3 年 算数 出題のねらい等

連番	大問	中問	領域及び学年	学習指導要領の内容	出題のねらい	観点				主に「知識」に関する問題	主に「活用」に関する問題
						算数への関心・意欲・態度	数学的な考え方	数量や図形についての技能	数量や図形についての知識・理解		
①	1	(1)	数と計算 3 年	A (2) イ 加法及び加法の計算	3 位数＋4 位数の繰り上がりのある加法の計算ができること。			○		○	
②		(2)	数と計算 3 年	A (2) イ 加法及び減法の計算	3 位数－3 位数の繰り下がりのある減法の計算ができること。			○		○	
③		(3)	数と計算 3 年	A (4) ア 除法の計算	乗法九九を 1 回使った余りのある除法の計算ができること。			○		○	
④	2	(1)	数と計算 3 年	A (3) ウ 乗法に関して成り立つ性質	乗数が 1 減るとき被乗数の大きさずつ減ることを理解していること。				○	○	
⑤		(2)	数と計算 3 年	A (4) ウ 除法の計算	乗法九九を 1 回使った除法の計算ができること。			○		○	
⑥	3		量と測定 2 年	B (2) ア 体積の単位	水のかさを比較することができること。			○		○	
⑦	4	(1)	数と計算 3 年	A (1) ア 万の単位	万の単位までの数が読めること。			○		○	
⑧		(2)	数と計算 3 年	A (1) ウ 数の相対的な大きさ	十、百、千、万を単位として数の相対的な大きさをとらえること。		○				○
⑨	5	(1)	量と測定 3 年	B (2) 目的に応じての単位や計器の選択	巻き尺を用いて長さの測定ができること。			○		○	
⑩		(2)	量と測定 3 年	B (2) 目的に応じての単位や計器の選択	生活場面で測定したいものを選び、その長さを測るために適切な計器を選ぼうとしていること。	○					○
⑪	6		図形 2 年	C (1) ウ 箱の形	箱の形の面の数や長さの関係について理解していること。				○	○	
⑫	7		数量関係 3 年	D (2) ア 式と図の関連付け	●の数の求め方について、図と式を関連づけて自分の考えを説明できること。		○				○
⑬	8	(1)	量と測定 3 年	B (3) イ 時刻や時間を求めること	朝起きた時刻と準備にかかった時間から、準備が完了した時刻をもとめることができること。			○		○	
⑭		(2)	量と測定 3 年	B (3) イ 時刻や時間を求めること	図書館に着く時刻と行きにかかる時間から家を出発した時刻を考えること。		○				○
⑮	9	(1)	図形 2 年	C (1) イ 正方形、長方形と直角三角形	長方形、直角三角形について知ること。				○	○	
⑯		(2)	図形 2 年	C (1) イ 正方形、長方形と直角三角形	直角二等辺三角形、直角三角形、正方形、長方形を組み合わせて、与えられた図と同じ形を構成しようとしていること。	○					○
⑰	10	(1)	図形 3 年	C (1) ウ 円	円の半径について理解していること。				○	○	
⑱		(2)	図形 3 年	C (1) ウ 円	円の半径の特徴をふまえて、②の形が円ではない理由を考えること。		○				○
⑲	11	(1)	数と計算 3 年	A (4) イ 除法と乗法、減法の関係	除法の計算で、答えの確かめの計算ができること。				○	○	
⑳		(2)	数量関係 3 年	D (1) 除法の式	除法が用いられる場面での式や商、あまりの関係を読み取り、問題を解決すること。		○				○

※領域及び学年、学習指導要領の内容については、すべて新学習指導要領で記述しています。